

事業名	効果	主な実績内容等
<共同募金配分金事業>		
共同募金活動等の推進	地域福祉活動に不可欠な民間活動の財源確保と共に、広報啓発活動及び地域福祉の積極的な取り組み支援を図った。	(1) 赤い羽根募金 (10月1日から3ヶ月間) 目標額 2,000,000円 実績額 2,311,431円 (達成率 115.6%) 件数 2,592件 (自治会2,469件 その他123件)
<赤い羽根募金配分金> 配分金収入 2,040,000円 参加費収入 600円 支出総額 2,040,600円	主な配分事業：敬老祝賀品・スマイルクラブ助成・調査費・幼児サークル助成・地区社協助成・広報費等	<助成事業> ①地区社会福祉協議会助成 (3地区) 420,000円 ②社協広報 320,113円 ③敬老祝賀品 82,710円 ④防災用備品代 586,635円 ⑤スマイルクラブ助成 100,000円 ⑥福祉器具貸し出し 3,000円 ⑦民生委員調査費 132,600円 子育て支援 ⑧ほっぺの会助成 (幼児サークル) 20,000円 ⑨子育てサロン助成 110,872円 子育てサロン開催数 2回 延べ参加人数 25人 (親子9組) ⑩貸出車椅子購入 217,800円 ⑪広報啓発事業 39,193円 ⑫事務用消耗品 7,677円 合計額 2,040,600円
歳末たすけあい募金 募金総額 527,708円 支出総額 527,708円	町内各種団体の年末行事への支援を行った。	(1) 歳末たすけあい募金 (10月1日から3ヶ月間) 目標額 530,000円 実績額 527,708円 (達成率99.6%) 件数 (自治会：2,471件 その他：6件) ①事務用通信費 708円 ②各種団体支援 障がい者福祉会ふれあい交流会支援 0円 レインボークラブ支援 30,000円 ほっぺの会 (幼児サークル) 支援 20,000円 ③ボランティア連絡協議会 ゆうあい訪問慰問品配布 支給額 30,000円 ④社協広報 (発行月変更により一般配分金事業にて支出) 0円 ⑤地域福祉活動助成金 (実施地区なし) 0円 ⑥剰余金 447,000円 合計額 527,708円

事業名	効果	主な実績内容等
<相談事業>		
心配ごと相談事業 補助金・会費収入 76,148円 支出総額 76,148円	住民の日常生活の様々な相談に対し、民生委員児童委員、行政相談委員の協力を得て、相談者に助言したり、適切な機関へ紹介する等問題解決の手助けを行った。また、第2水曜日は人権擁護委員も加わった合同相談を実施し、幅広く問題解決に結び付けた。	相談取扱件数 22件 主な相談内容 財産8件、住宅3件、法律3件、家族2件、老人福祉2件、医療・事故・離婚・その他各1件 弁護士相談 6件
結婚相談事業 前年度繰越金 17,858円 支出総額 17,858円	相談所を開設し、現在の登録者や結婚について不安をもっている方の相談を行った。また茂原市認定の市民活動団体と連携し、広域的な婚活支援活動を行った。	(1) 相談所開設 相談者合計 2名 (2) 茂原市内婚活支援機関との連携 連携数 1件
<在宅福祉事業>		
給食サービス事業 補助金・会費収入 378,142円 支出総額 378,142円	75歳以上の一人暮らし高齢者に、令和2年度は新型コロナウイルス拡散防止のため弁当調理を見合わせ、6月から月2回事務局により慰問品を配達した。	毎月第2・4金曜日配達(年19回) 延配達数 785名 登録者数 51名
紙おむつ給付事業 補助金・会費収入 1,063,050円 支出総額 1,063,050円	在宅の高齢者等で、介護保険制度の要介護4・5の認定を受けた、常時失禁している方に年4回(4・7・10・1月)紙おむつを給付し、在宅介護及び経済的負担の軽減を図った。	支給月 4月・7月・10月・1月(年4回) 実人員 32名 延べ人員 130名
外出支援サービス事業 補助金・会費収入 3,927,000円 事業収入 228,700円 繰入金収入 427,057円 支出総額 4,582,757円 受託金収入 1,008,000円 支出総額 1,008,000円	単独で公共交通機関を利用できない、概ね65歳以上の高齢者のみの世帯に対し、リフト付きのワゴン車により「居宅から近隣市町村の医療機関、公共機関等へ」の外出支援を行った。なお、新型コロナウイルス感染防止の観点より令和2年11月より運行車両を2台にした。	運行件数 246件 利用者延べ人数 1039名 登録者数 24名
<貸付事業>		
貸付事業 前年度繰越金 1,196,829円 R2 貸付額 110,000円 R2 返済額 123,000円 利息収入 75,536円 繰越金 1,285,365円	低所得者世帯へ援護資金を貸し付け、生活援護を図った。	生活援護資金(町)貸付 内訳 貸付件数: 6件 貸付総額: 110,000円 貸付内容: 生活保護支給までの生活費 公共料金滞納分 相談延べ件数 41件
千葉県社協貸付事業(事務費) 県受託金収入 78,400円 支出総額 78,400円	低所得者世帯・障害者世帯・高齢者世帯に対して資金の貸付申請の支援、必要な相談支援を行い、その世帯の経済的な自立と生活の安定を図った。	生活福祉資金・臨時特例つなぎ資金 貸付件数: 1件 貸付種類: 緊急小口資金 貸付総額: 100,000円 相談延べ件数 31件

事業名	効果	主な実績内容等
<p>千葉県社協貸付事業 (臨時特例つなぎ資金事務費) 県受託金収入 3,000円 支出総額 3,000円</p> <p>千葉県貸付事業 (コロナ特例資金 事務費) 県受託金収入 330,000円 支出総額 330,000円</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で生活に困窮された世帯に対し生活費等の資金の貸付申請の支援、相談に応じ必要な機関につないだ。</p>	<p>生活福祉資金(コロナ特例)</p> <p>貸付件数: 96件 貸付種類: 緊急小口資金特例資金 57件 総合支援資金特例貸付 24件 総合支援資金特例貸付(延長貸付) 13件 総合支援資金特例貸付(再貸付) 2件 貸付総額: 25,570,000円 相談延べ件数 201件</p>
<日常の生活支援>		
<p>日常生活自立支援事業 県受託金収入 489,000円 利用料収入 40,300円 支出総額 529,300円</p>	<p>高齢者、知的障害者、精神障害者などの判断能力が不自由な者に対して、福祉サービスの利用に関する援助等を行うことにより、自立した生活が送れるように支援する。</p>	<p>・福祉サービス利用援助事業 ・財産管理サービス ・財産保全サービス ・新規契約3件、解約0件 ・R3.3.31現在利用者9名</p>
<心身障がい児(者)福祉の推進>		
<p>介護用品の貸出</p>	<p>リフト付きのワゴン車や車いすを無料で貸し出し、障がいのある方や高齢者の社会参加のための支援を図った。</p>	<p>車椅子 24件 福祉カー 9件</p>
<児童・母子福祉の推進>		
<p>交通遺児援護事業 (県社協)</p>	<p>義務教育中の交通遺児家庭に対して、図書券や激励金又は奨励金を支給し、経済的援助を図る。</p>	<p>町内の保育所・小中学校の調査を行った。</p>
<団体各種支援>		
<p>団体活動助成事業 受託金収入 475,000円 支出総額 475,000円</p>	<p>福祉団体を助成し、活動を支援した。</p>	<p>(1) 民生委員・児童委員協議会 0円 (2) 母子寡婦福祉会 7,000円 (3) 保護司会 85,000円 (4) 遺族会 184,000円 (5) 障がい者福祉会 150,000円 (6) 更生保護女性会 49,000円</p>

事業名	効果	主な実績内容等
<介護保険 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）>		
地域包括支援センター事業 受託金収入 21,555,817円 プラン料収入 850,210円 支出総額 22,406,027円	<ul style="list-style-type: none"> ・生活上の様々な課題を抱える高齢者に対して、適切なケアマネジメントを行い、介護予防や生活改善を図った。 ・様々な問題を抱えている家庭へ、在宅生活の継続及びサービス利用ができるよう助言や支援を行った。 ・1人暮らし高齢者の見守り・安否確認を行った。 ・介護をしている家族に認知症の正しい理解と情報を提供した。 	1. 介護予防ケアマネジメント事業 (1) 介護給付費延べ請求数 794名 (2) ケアマネジメントA 473名 2. 総合相談支援業務 (1) 地域におけるネットワーク構築業務 ・民生委員児童委員協議会との連携 ・給食サービス実施時に見守り票作成 (2) 総合相談事業相談総件数 延べ数: 1,544件 <<相談内容内訳>> 実相談: 316件 ・寝たきり高齢者 13件 ・一人暮らし高齢者 170件 ・認知症高齢者 171件 ・介護に関する事柄 56件 ・介護及び福祉サービス 256件 ・保健及び医療 50件 ・精神的支援 13件 ・生活支援 89件 ・状況確認 286件 ・関係機関調整 260件 ・権利擁護及び成年後見 8件 ・消費者被害 0件 ・高齢者虐待(疑いも含む) 8件 ・施設入所 35件 ・介護方法(技術) 1件 ・苦情全般 6件 ・やむ得ない事由による措置 0件 ・個人の悩み事 27件 ・家族間調整 90件 ・その他 5件 <<対象別相談件数 565件(延べ数)>> ・介護支援専門員 45件 ・サービス事業者 9件 ・主治医 4件 ・民生委員 16件 ・近隣 7件 ・家族 234件 ・当事者(利用者) 103件 ・知人 6件 ・関係機関 140件 ・その他 1件 <<一人暮らし・高齢者世帯等把握訪問>> 126件 <<方法別相談件数 565件(延べ数)>> ・電話327件 ・文書0件 ・来所73件 ・訪問165件 ・その他0件 (3) 認知症をかかえる家族会 開催数 4回 内訳 ・通常開催6回 ※2回は中止 ※家族交流会サポーター訪問件数3件 ・延べ参加人数23名 ・内容: 熱中症防止について はまひろがお 排泄ケア・紙おむつについて 福祉用具事業者 新型コロナウイルス時代の感染症対策 薬剤師

事業名	効果	主な実績内容等
		<p style="text-align: center;">栄養と運動について 管理栄養士</p> <p>3. 権利擁護事業 (1) 日常生活自立支援 3件 (2) 成年後見制度の活用及び支援 3件 (3) 高齢者の詐欺防止の対応 民生委員に情報提供を行った。 <千葉県警・消費者センターからの注意喚起事項></p> <p>4. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 (1) ケアマネージャーとの意見交換（困難事例の支援含む） 実施：年 2回（書面郵送にて実施） 期 日：4月20日 26事業所 5月27日 26事業所 (2) 事例検討会 期 日：9月28日 5事業所11名参加</p> <p>5. 地域包括支援ネットワークの構築 (1) 協議体への出席4回 期 日：6月24日・8月26日・10月29日・1月28日</p> <p>6. 地域ケア会議 (1) 模擬会議 期 日：9月16日 参加者：アドバイザー・介護保険係・地域包括支援センター 理学療法士・薬剤師・保健師・訪問看護師・歯科衛生士 管理栄養士・主任介護支援専門員・ 生活支援コーディネーター 事例数：2事例 (2) 地域ケア会議 期日：10月28日 参加者：作業療法士・理学療法士・薬剤師・訪問看護師 歯科衛生士・管理栄養士・主任介護支援専門員 生活支援コーディネーター・保険者 地域包括支援センター・事業者 事例数：2事例</p> <p>7. 認知症サポーター養成講座 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止。</p> <p>8. 介護保険運営協議会 期 日：8月19日・1月19日・2月17日</p>

事業名	効果	主な実績内容等
在宅医療・介護連携推進事業	医療機関と介護事業所関係者の連携を図るために研修会等を開催する必要があるが、コロナ禍において開催する事ができなかった。	1. 医療及び介護機関の資源の把握並びに在宅医療の情報をホームページにて周知。 2. 医療・介護連携研修会の開催及び課題の抽出 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催中止。 3. 在宅医療介護連携に関する相談窓口を設置。 4. 長生管内地域包括支援センター定例会において関係周辺市町村と連携を図った。
<介護保険 総合事業 一般介護予防事業>		
いきいき健口教室事業 受託金収入 70,853円 支出総額 70,853円	口腔機能訓練をすることで、口周りの筋力が強化され活舌も良くなり、唾液が出るようになり呑み込みが良くなると共に食物が美味しく食べられるようになった。教室参加後、日常生活の見直しをすると共に、口腔の大切さを実感し周知する活動がみられた。(口腔 栄養)	開催数:7回(口腔・栄養指導)10月～12月 参加数:延べ33名 実参加者数6名
ふれあい幸民館事業 受託金収入 3,619,177円 支出総額 3,619,177円	総合的な介護予防を積極的に取り組むことにより、日々の生活の中で自ら体を動かし行動するようになり、積極的に健康管理に気をつけるようになった。同時に、要介護状態に移行しないよう歯止めとなっている。令和2年度はコロナ禍において短縮した教室開催を余儀なくされたが、半日であっても教室再開出来たことにより仲間との交流機会を継続して持つ事が出来た。	開催数:111回 参加数:延べ912名 利用登録者数24名(R3.3.31現在) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、R2.4月及び5月は開催中止。 開催再開した6月からは時間を短縮(半日)し実施。 ※事業実施内容の変更に伴い、当該年度末にて終了。
介護予防の普及啓発	・コロナ禍で外出自粛の高齢者に対して介護予防に関するチラシを配布する等の広報活動を実施した。	介護予防に資する案内チラシの配布 ・合計85名へ配布する。
脳の若返り教室 補助金収入 532,775円 支出総額 532,775円	くもんの読み・書き・計算・数字盤を実施することにより、脳の機能を維持向上出来ており認知症予防につながっている。 令和2年度はコロナ禍において教室開催期間を短縮し実施したが、仲間と再会できた事や学習療法を再開した事により『脳の刺激になる』『元気になる』という声が学習者から多くみられた。	開催数:20回 参加数:延べ354名 実参加者数17名 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、R2・5月は開催中止。 通常10ヵ月コースの開催期間を6月～11月の6ヶ月コースに変更し実施。 ※事業実施内容の変更に伴い、当該年度末にて終了。
介護支援サポーター事業 受託金収入 11,000円 支出総額 11,000円	高齢者が介護支援サポーター活動を通して積極的に社会参加し、地域貢献することを奨励するとともに、高齢者自らの自発的な介護予防を促進する。	・合計登録者8名 ・サポーター活動延べ時間168時間 ・ポイント換金者3名 (千円:1名、2千円:1名、5千円:1名)
介護度重度化防止推進事業 (健康倶楽部)	外出する機会の少ない高齢者に対して、介護予防を目的としたレクリエーションや健康体操等を、歩いて通える場所(自治区の青年館・公民館等)で行うことで、介護度重度化防止を推進する。	開催数:計61回 開催地区:牛込東・浜宿東・幸治東・福島 浜宿下村南・南日当・北高根宮ノ台・古所西 参加者数:延べ351名 実参加者:56名

事業名	効果	主な実績内容等
<介護保険 包括的支援事業(社会保障充実分)>		
生活支援体制整備事業 受託金収入 1,964,118円 支出総額 1,964,118円	高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していく事を目的とし、地域において、生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネートを行う。	(1) 協議体 ・令和2年6月24日第1回協議体会議開催 会場：白子町公民館 内 容：①生活支援体制整備事業の推進プロセスについて ・令和2年8月26日第2回協議体会議開催 会場：白子町公民館 内 容：①事業展開モデル地区（自治会）の選定について ②事業展開モデル地区へのプレゼンテーション内容について ③事業展開モデル地区の設置行程について ・令和2年10月29日第3回協議体会議開催 会場：白子町公民館 内 容：①生活支援体制整備モデル地区（八斗東自治会）実践の進捗について ・令和3年1月28日第4回協議体会議開催 会場：白子町公民館 内 容：①生活支援体制整備モデル地区（八斗東自治会）実践の進捗について 八斗東自治会への説明 ・令和2年9月6日 生活支援体制推進モデル地区設定に際する説明会 ・令和2年10月17日 「助け合いの仕組みづくり」打合せ会 ・令和2年11月28日 「助け合いの仕組みづくり」打合せ会 ・令和3年1月10日 八斗東自治会班長会議 ・令和3年3月14日 八斗東「たすけあいチーム」チーム員会議 (2) 生活支援コーディネーター ・令和3年2月22日 ・長生夷隅圏域生活支援コーディネーター・圏域別情報交換会へ出席 (3) 地域ケア会議 ・令和2年10月28日 出席
認知症初期集中支援チーム 受託金収入 0円 支出総額 0円	サポート医・保健師・介護福祉士・社会福祉士がチーム員となり、認知症の人やその家族に訪問支援等で認知症かどうか診断の支援をした。また適切な医療・介護サービスを紹介し集中的に支援した。 (概ね6ヶ月)	(1) 相談件数 21件 つなぎ先：医療5件・介護7件・ケアマネ6件・その他3件 (2) 認知症初期集中支援チーム該当者 5名 チーム員会議数 13回 (3) 白子町認知症初期集中支援チームサポート医への報告・・・12回 期 日：4月21日・5月19日・6月30日・7月30日 8月31日・9月29日・10月20日・11月19日 12月24日・1月26日・2月16日・3月9日 場 所：安藤医院 参加者：認知症サポート医安藤医師・ 白子町地域包括支援センター職員 (4) 長生郡5町村認知症初期集中支援チーム事業担当者会議 期 日：9月10日 場 所：長柄町 参加者：白子町・長生村・睦沢町・長南町・長柄町担当者 (5) 長生郡5町村認知症初期集中支援チーム検討委員会 期 日：11月16日 場 所：睦沢町役場 参加者：白子町・長生村・睦沢町・長南町・長柄町担当者・ 担当課長・検討委員